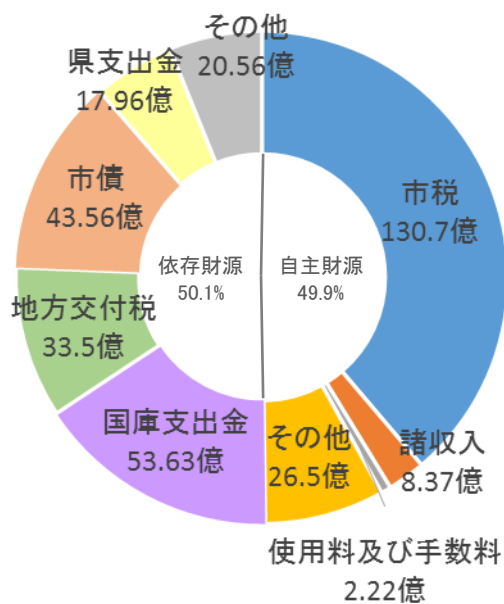
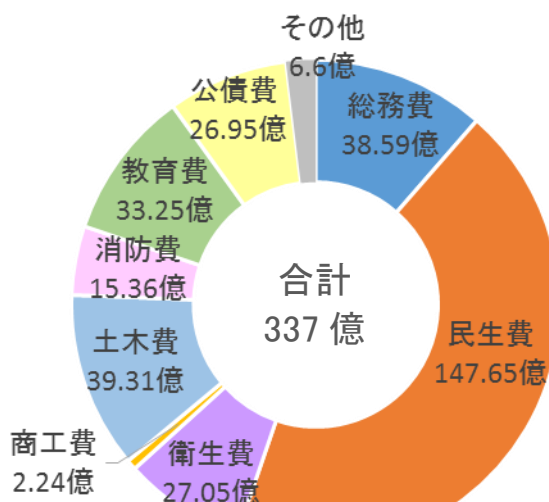


## 平成28年度当初予算が成立／5つの柱を建てて事業展開

平成28年度 一般会計 歳入予算



平成28年度 一般会計 歳出予算



5年間の一般会計予算額の推移

単位:千円

年度	予算額	増減額	増減率
平成24年	27,830,000	-	-
平成25年	32,060,000	4,230,000	15.2%
平成26年	31,700,000	▲ 360,000	▲1.1%
平成27年	33,820,000	2,120,000	6.7%
平成28年	33,700,000	▲ 120,000	▲0.4%

鎌ヶ谷市の平成28年度当初予算が3月定例議会で成立しました。「地震・災害に強い街づくり」「子育て世代にやさしい街づくり」「高齢者が安心して暮らせる街づくり」「文化・スポーツの振興と緑あふれる街づくり」「にぎわいの創出と未来を見据えた街づくり」という5つの柱を建てて事業展開を進めていきます。

平成28年度一般会計の歳入歳出予算は337億円、特別会計（国民健康保険、公共下水道事業、介護保険、後期高齢者医療）を含めた総額は575億7,900万円となります。平成28年度一般会計の主な事業の概要は以下の通りです。

**総務費**は、市庁舎等改修事業として、市役所敷地内における防災倉庫について、老朽化による更新に合わせて、事務所等の複合施設を整備するため、実施設計を行います。都市のブランド化事業として、イベントの開催やWEBサイトを通じて市の魅力を積極的にPRしていきます。

**民生費**は、平成29年4月に小規模保育事業の開設（定員19名）を目指す地域型保育整備助成事業と、平成29年9月に民間保育所の開園（定員90名）を目指す民間保育所整備助成事業を行い、待機児童対策を推進していきます。放課後児童クラブ整備・改修事業として、児童の増加や施設の老朽化などを踏まえ、3校（鎌小・中部小・初富小）の施設整備を行います。生活困窮者自立支援事業として、就労準備支援および学習支援事業を行います。また各種高齢者生きがい対策事業を実施します。

**衛生費**は、市民の健康を守るため、各種がん検診等や各種予防接種を実施します。

**商工費**は、空き店舗活用事業として、市内商店街の空き店舗を解消するため、集客に役立つ施設や店舗の出店に対して改装費の一部を補助し、まちの賑わいの創出に取り組みます。また若者や女性など広く地域における創業を支援していきます。

**土木費**は、水害被害の軽減を図るため、準用河川整備事業として、鎌ヶ谷保育園付近の二和川護岸改修工事、馬込沢地区の二和川拡幅及びバイパス整備を進めます。コミュニティバス運行助成事業として、平成28年9月より、ききょう号の土日運行や、増便、運賃の改定などが行われます。新京成連続立体交差事業として、初富駅、新鎌ヶ谷駅、北初富駅、3駅の高架化を図ります。

**消防費**は、消防本部庁舎建替事業として、消防本部庁舎の工事および機能移転を平成27年度に行いました。平成28年度は、倉庫棟の建設工事を行い、7月末に全ての工事完了を予定しています。消防車両更新事業は、車両の老朽化に伴い、消防用自動車更新計画に基づき、くぬぎ山消防署の水槽車(1台)を更新します。

**教育費**は、小中学校コンピュータ等整備事業として、各小中学校へタブレットの導入や、無線LAN環境の整備、情報漏洩防止セキュリティの強化を行い、情報教育環境の整備を進めていきます。義務教育施設校舎増設事業として、五本松小学校の児童数増加に対応した新たな校舎を整備するため、実施設計を行います。



清水市長に予算要望書を提出する公明党鎌ヶ谷市議団。新年度予算には、公明党の主張が大きく反映されました

※予算審査特別委員に会派を代表し、矢崎悟議員、池ヶ谷富士夫議員が選任され、審査を行いました。  
※代表質疑は、川原千加子議員が行いました。

## 通学路の安全を強化 鎌ヶ谷小学校周辺を「ゾーン30」に指定



鎌ヶ谷市は、2月1日から鎌ヶ谷小学校周辺の道路を「ゾーン30」に指定しました。

「ゾーン30」が指定された地域は、車の最高速度が30キロに規制されます。鎌ヶ谷小学校周辺道路は、交通量の多い幹線道路に囲まれ、抜け道として利用する車が住民の生活道路や通学路を頻繁に走行しており、その上、歩道が整備されていない道路も多く、年間10件弱の人身事故が起きるなど、安全対策の必要性が高まっていました。

公明党鎌ヶ谷市議団はこれまで、議員が通学路の見守りや安全誘導などの地域活動に取り組み、議会の一般質問や予算要望で「ゾーン30」の導入による安全対策を求めてきました。今後も、更なる事故防止対策を推進していきます。

(写真は現地視察する公明党鎌ヶ谷市議団)

## 3月定例議会での市政に対する一般質問（概要）



矢崎 悟 議員

## 1. 本市における災害・防災対策について

東日本大震災の教訓を踏まえた自助・共助・公助の観点のもと、本市はこの5年間、地域防災計画の整備や防災備蓄倉庫の整備、避難所運営マニュアルの策定、防災ハンドブックの作成などに取り組んできました。①高齢者や要援護者への避難支援に対し、平常時からのきめ細やかな要援護者の把握と地域支援者への働きかけ、②電柱に設置される避難誘導看板のQRコードをスマートフォン等で読み取ることで表示されるハザードマップの描画の遅延や避難場所までのルートが不明等の問題に対する改善、③安否確認や情報収集の際に避難所でのインターネットを活用するWi-Fi環境の整備などの要望を行いました。

## 2. ふるさと納税について

地方創生において、ふるさと納税の取り組みは、必要不可欠であるという観点のもと、「桜×鎌ヶ谷＝魅力アップ事業」など積極的な情報発信をはじめ、梨に関する商品や日本ハムファイターズグッズなど、地域資源を活かした返礼事業の実施について要望を行いました。市からは、①ふるさと納税の定着・普及から、返礼事業の導入、②ふるさと納税を扱う大手Webサイトとの連携、③4月からはじまる企業版ふるさと納税制度の導入について、検討を進めていくとの答弁がありました。



川原 千加子 議員

## 1. 軽減税率制度導入に関する本市の対応について

来年4月に予定される消費税率10%への引き上げ時に軽減税率が導入されます。軽減税率は消費者の痛税感の緩和や安心に繋がるものですが、事業者にとっては、納税事務負担や複数税率への対応に不安を感じているのではないかと考えます。約1年後に迫った制度導入に向けて、事業者への国の支援内容や本市の対応について質問を行いました。国は予備費996億円を活用して、中小の小売事業者へのレジ購入費や受発注システムの改修等に係る費用を補助するとのことです。市内事業者の方が必要な支援を必ず受けられるよう要望したのに対して、周知やサポートなどの的確に対応していきたいとの答弁がありました。

## 2. 市民の誰もが利用できる図書館の運営について

身体の障がいなどで図書館を利用したくても利用できない方々への宅配サービスの必要性を感じ、近隣市の実施状況や本市での必要性についての質問と、実施に向けての要望を行いました。県内市立図書館70館中34館で、また近隣では、船橋・松戸・柏・市川・白井市で、宅配や郵送による貸出しを実施しているとのことです。市からは、来館困難者のための宅配サービスは効果的なものであり、今後多角的な調査を行い、問題や課題に対する研究への取り組みが必要との答弁がありました。



小易 和彦 議員

**道路行政について** 鎌ヶ谷市の交通は、骨格となる国道464号、主要地方道船橋・我孫子線、千葉・鎌ヶ谷・松戸線、市川・印西線を中心に形成されており、市外からの通過交通が市の中心部に入り込み、慢性的な渋滞が発生しております。このため、渋滞の緩和策の一つとして、都市計画道路による市街地外郭幹線網の整備や東武野田線及び新京成線の連続立体交差事業に取り組んできております。このような中、平成17年10月に国道464号が印西市方面から上下線とも主要地方道船橋・我孫子線に接続され、供用が開始されるとともに、平成20年10月には都市計画道路3・4・5号船橋・我孫子バイパス線（市道18号線）が国道464号に接続しました。こうした新たな道路整備により交通環境に大きな変化があり、千葉ニュータウン方面からの交通が増加し、この交通が東初富地区や南初富地区の主要な道路に集中することとなりました。そこで、平成23年9月議会に引き続いて、①稲荷西交差点及び稲荷前交差点における安全性の確保と交通渋滞対策について②市道17号線、市道18号線、市道51号線の交通安全対策について質問しました。その中で、北千葉道路の完成が市内の通過交通の減少、ひいては交通渋滞の解消につながるのと考えから、一刻も早い整備を求めるとともに、完成までには多くの時間が必要であることから、今必要な、そして今できる渋滞対策、交通安全対策に積極に取り組むことを要望しました。



佐藤 誠 議員

## 1. コミュニティバス（ききょう号）運行見直し内容について

見直し検討委員会での報告を受け、具体的見直し項目について質問しました。市からは「南線及び東線は、2便増便し、西線は路線が長いことから現在のルートを南と北で2つに分け1便増やし運行。バス停の増設については、くぬぎ山地区で8箇所、馬込沢地区で2箇所増設する計画。要望の多い土曜、日曜の運行は、渋滞での遅れを予想し、便数を平日より若干少なくして対応。今後、運輸局への申請などを進め、運行開始日程が確定しだい、利用者や市民の皆様へ分かりやすくお知らせします。」との回答をもらいました。

## 2. 飼い主のいない猫適正飼養活動支援事業の現状と課題について

飼い主のいない猫の不妊・去勢の手術は、手術対象の猫を捕獲できなくても申請数で締め切られるため、捕獲できる人が受けられないという課題があります。そうした現状を是正するとともに、次年度以降の予算増額についても質問しました。また毎年多く行われている殺処分を少しでもなくするために飼い主に対する不妊・去勢の手術の意識啓発・実施推進を要望しました。市からはそれぞれの課題について前向きに取り組むとの回答をもらいました。



池ヶ谷富士夫 議員

## 1. 市道3630号線の延伸について

東西を結ぶ市道22号線、通称セイコー舎通りは、市内の幹線道路の中でも交通量が非常に多く沿線住民の生活環境の悪化を招いています。そこで、22号線の補完道路として3630号線の延伸について質問しました。市からは、「東中沢3丁目の市道22号線との交差点を起点として、中沢地区の弥生の里自然霊園南側付近までの延長1,140m道路のうち、約500m区間については東中沢区画整理事業により整備されているが、市道28号線ゴルフ場通りまでの約600mについては交通状況改善のための一つの方策と考えられるもので、今後は調査、研究をして参ります。」との答弁でした。

## 2. 市道3808号線の通学路の整備について

4中通学路となっている市道3808号線は、斜面からの絞り水が路面を濡らし、寒さの厳しいときには路面が凍結したりして通学に支障をきたしています。改善策として、道路の両側に排水溝の設置ができないか質問しました。市からは、一部道路境界が確定されていない箇所があり、現状での対応は困難であるが、現在進めている大柏川第2調節池の管理用道路を活用すべく検討して参りますとの答弁でした。